

ユースレースへ参加される選手・保護者の方へ

K2 主任 浅野慎史

・スイッチバックの禁止について

全日本より発表されていますが、今シーズンより「スイッチバックの禁止」となります。スイッチバック禁止というものには2つのルールが掛かっており、今回禁止となるのは、

・ICR 614.2.3 競技者が止まった後の継続禁止

競技者が完全に止まった場合(例:転倒)、その競技者は、前の旗門やその後の旗門を続けることはできない。

もう一つ誤解を招くルールとして絡んでいるのが、

《シングルポールスラローム競技における通過の定義》

・ICR 804.3 アウトサイドポールがない場合は、スラロームの通常のレースラインに沿って、ターニングポールからターニングポールまでの架空の線を越え、両足とスキーの先端がターニングポールの同じ側を通過しなければならない。(以下省略)

今年から「完全停止後の再スタート禁止」と合わせ、「違う方向からの通過は不可。」に統一されます。

※詳細については、各コーチより指導を受けるようお願いいたします。

・フッ素使用の禁止について

今シーズンよりフッ素の使用に関してカテゴリーに関係なく、抜き打ち形式にてフッ素の測定が実施されます。

「各チーム・各選手においてはフッ素の使用はしない。」徹底をよろしくお願いいたします。

Compliance(法令遵守・ルール遵守)

→(例)フッ素の測定で反応が出た場合は「失格」の措置

Integrity(誠実さ)

→(例)スポーツマンシップとして、道具に対してのドーピング行為とならないために。

宜しくお願い致します。